



Menara Thamrin 305  
 Jl. M.H. Thamrin Kav. 3  
 Jakarta 10340  
 Phone : 62-21-230-3830

Rp.12,000

編集協力 びすく社  
 © PT. BINA KOMUNIKA ASIATAMA, BYSCH  
 License No.508/SK/MENPENSUIPP/1998

# AMDA、医療活動開始

## ストレス訴える被災者も

日本の非政府組織(NGO)であるアジア医師連絡協議会(AMDA)は、津曲兼司医師、光島宏美・作業療法士をパダン沖地震の被災地に派遣した。津曲医師らは、四日朝から、震源地に近く甚大な被害が出て

いるが、パダン市内と比べ救助が遅れているパリアマンの村で医療活動を開始、一日で約二百人の被災者を診療した。

津曲医師は「わかるた新聞に対し「患者のほとんどは外傷者だが、地震による

ショックで頭痛などの体調不良を訴える人も少なくない」と語った。地震後にしばしば起こる感染症のまん延については「飲料水の援助も届いており、広大な土地が確保されているので、パリアマンではまん延の可能性は低い」と語った。

AMDAは、第二陣として医師ら五人の職員を被災地に派遣することを決定、五日午前には、パダン入りする。